

立村70周年の感謝と喜び 熱き思いを未来に繋ごう



去る令和8年9月30日、飯館村は「立村70周年」という記念すべき日を迎えました。私が生まれる20年前、飯館村が誕生した昭和31年（1956年）は、戦後の復興を大きな指針としてきた社会が、経済の発展をも見据え、新たな一歩を果敢に踏み出した転換期であったとうかがいます。

また、誕生から70年を経た本年は、東日本大震災から15年目という大きな節目の年でもあります。東日本大震災とその後の原発事故による6年間におよび全村避難は、村民の暮らしやなりわい、地域のコミュニティに極めて甚大な影響をもたらしました。その影響は年月の経過だけで解消されるものではなく、今なお様々な担い手が多岐に渡る課題の解決に向かって、日々を積み重ねています。

復興のその先を見据え、村の中にある「なりわい」を育て、強化していくことも、今の飯館村にとって欠かすことのできない取り組みの一つです。村の魅力を丁寧に磨き上げ、多様な種類の「なりわい」や「人流」を生み出し、村内総生産の向上にも繋げていく。今はまさに、そういった歩みを力強く進めていくフェーズにあります。70年前、私たちの父母、祖父母の世代が、必死に汗して働き、村の未来に思いを馳せ、飯館村としての歩みを始めたように、今を生きる私達もまた、共に励み、「美しく清らかな村 いたて」を興し、富ませ、次の世代へと繋げていかなければなりません。

先の福島県議会において、内堀県知事が、村の「こども議会」で語られた「復興とは、そこに住む人、関わる人たちの思いが重なり合って、一歩ずつ前へ進むこと」という、いたて希望の里学園生の言葉をご引用くださいました。震災後に生を受けた子ども達が、自らの言葉で復興の意味を捉え、未来を見つめている姿は、今を生きるすべての世代に大きな希望を与えてくれます。

この「立村70周年」を、村を築き、支えてこれた多くの皆様への「感謝と喜び」を胸に、次代へ向けた新たな出発点としてまいります。そして、この村に暮らす人、村を思う人、村に関わる人、それぞれの熱き思いを重ねながら、次の世代へと誇れる「飯館村」を村民の皆様と共に築き上げてまいりたく存じます。

■ひとのうごき

おくやみ

氏 名	年齢	行政区
荒 二三子 さん	106	飯樋町 ※
阿 部 敏 男 さん	79	二枚橋・須萱
佐 藤 静 江 さん	90	大 倉
田 村 スズエ さん	95	二枚橋・須萱
高 橋 久 男 さん	89	長 泥
佐 藤 一 子 さん	94	二枚橋・須萱
村 山 孝 さん	89	深 谷
庄 司 百合子 さん	91	深 谷
齋 藤 トメヨ さん	91	佐 須
佐 藤 勝 さん	91	前 田



ひとのうごき 令和8年9月1日現在	
人 口	今月（前月比）
●男	2,168人（－9）
●女	2,070人（－10）
計	4,238人（－19）
世帯数	7月1日～30日までの人口動態
1,767戸（－7）	転入 2人
	転出 14人
	出生 0人
	死亡 7人
	（住民基本台帳人口）

ご冥福をお祈り申し上げます。

（8月19日から9月15日までに届け出のあったものを掲載）※は7月届出。
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

立村70周年記念 第43回 いいたて村文化祭

10月25日 ⑧ 午前10時～午後2時
午前9時30分 開会式・表彰式
交流センター「ふれ愛館」

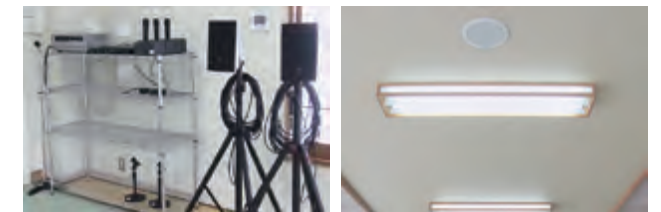
いいたて秋まつり、第9回福祉チャリティー祭りも
会場内で同時開催！飲食コーナーでは秋の味覚を。

総合文化展は10月22日～28日に開催！
午前9時～午後5時 ※24日は午前9時30分～午後2時
25日は午前10時～午後2時
幅広いジャンルの作品を展示。世代を問わない創作
の力を感じてください。民具の特別展示も同時開催。

詳細はお知らせ版9月20日号同封のチラシにて。

ふるさと70年、これからも飯館とともに

宝くじ助成事業 比曽集会所の音響機器を整備



比曽行政区が、宝くじ助成事業（一般コミュニティ助成事業）を活用し、集会所に天井スピーカーや屋外スピーカー、マイクなどの音響機器を整備しました。幅広い世代の区民が、地域コミュニティ活動や伝統芸能の継承活動などをより活発に行えるよう整備に取り組みました。

「一般コミュニティ助成事業」は宝くじの社会貢献広報事業。受託事業収入を財源としています。



皆さんが広報委員！
いいたて PHOTO リレー
月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。

テーマは
「スポーツの秋」
～いいたてスポーツ公園～
撮影者
大内 亮 さん（八木沢・芦原）



「いいたてスポーツ公園が完成する直前、平成30年にドローンで撮影したもので、施設の全景がよくわかる写真だと思います」。撮影したのは、飯館村スポーツ推進委員長の大内亮さんです。現在も毎週、村民や村内企業で働く仲間とフットサルチーム「I.B.C（いいたてベコクラブ）」で施設を利用しています。「震災前にフットサル教室で教えていた子どもが大人になって参加していて、年をとったなと実感します」と大内さん。「人工芝の状態もよく照明設備も整っているの、夜間でも

利用できます。近隣の学校やクラブも利用していますが、サッカーや陸上、野球、テニスなど本当に幅広いスポーツができる施設なので、さらに多くの方に利用してほしいですね。合宿などで活用される機会も増えてほしいです」とスポーツを通じた地域振興への思いも話してくれました。

11月号
10/16締切
例えば…「稲刈り」「運動会」「秋の音」「芋掘り」をテーマに。

12月号
11/16締切
例えば…「紅葉」「焼き芋」「冬の始まり」「七五三」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選 考 応募多数の場合は選考します。
- 報 償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係（広報担当：巻野） ☎0244-42-1613